

# ストロボの特徴

---

ストロボは次のような特徴があります  
高速で強弱のついた光が点滅し、より効果的な  
照明演出ができます。

例えば、「ビビビッ」というように連射させたり、  
一定の速度で点滅させたりという事もできます。

# ストロボの種類

---

当社にはPARストロボとドームストロボの2種類があります。

## PARストロボ (300w)

PARストロボはある程度の照射範囲が決まっています。

例) 芝居・ダンスなどで出演者にのみストロボ  
効果を与えたい場合など

## ドームストロボ (300w)

ドームストロボは電球の周りを円形の透明な筒で  
覆っており、広範囲にストロボの効果を出すこと  
ができます。

また、照射した光だけでなくスポット自体の演出  
効果もあります。

# コントローラー（光の強弱・点滅速度）

ストロボの明るさと点滅速度はコントローラーで調節することができます。

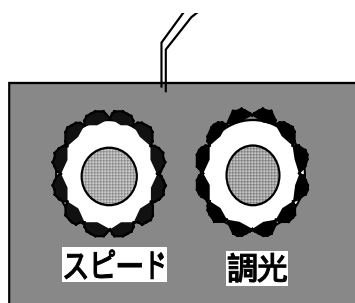
（コントローラーは1台につき1個必要になります。）

点滅速度の調節をするには「スピード」のつまみ調節して下さい。（つまみの数字が大きくなると早く点滅する）

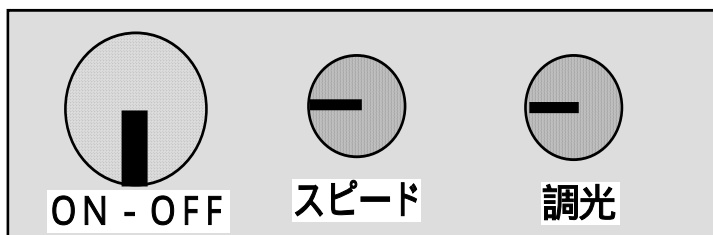
明るさ調節をするには「調光」のつまみを調節して下さい。（つまみの数字が大きくなると明るくなる）

PARストロボ用のコントローラーはON - OFF機能付きです。

## ドームストロボ用コントローラー （延長不可）



## PARストロボ用コントローラー （延長可）



# 遠隔操作をする場合

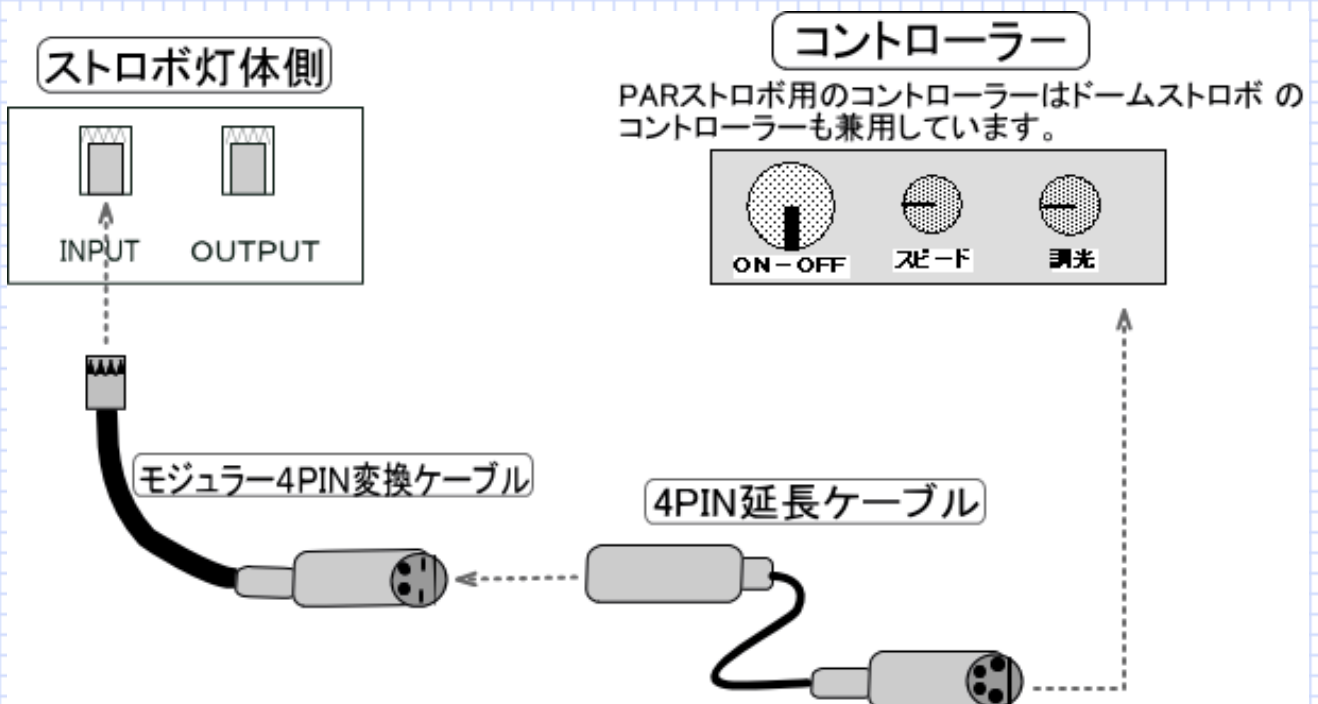
\* 遠隔操作をする場合は、PARストロボ用のコントローラーを使用します。

このコントローラーはON - OFF機能付きなので途中でON - OFF機能付きスイッチケーブルは必要ありません。モジュラー~4pinの変換ケーブルと4pinの延長ケーブルを使用することにより遠隔操作ができます。

遠隔操作のメリットは手元にコントローラーを置くことができるので、本番中に明るさと点滅速度の調節が可能になるということです。

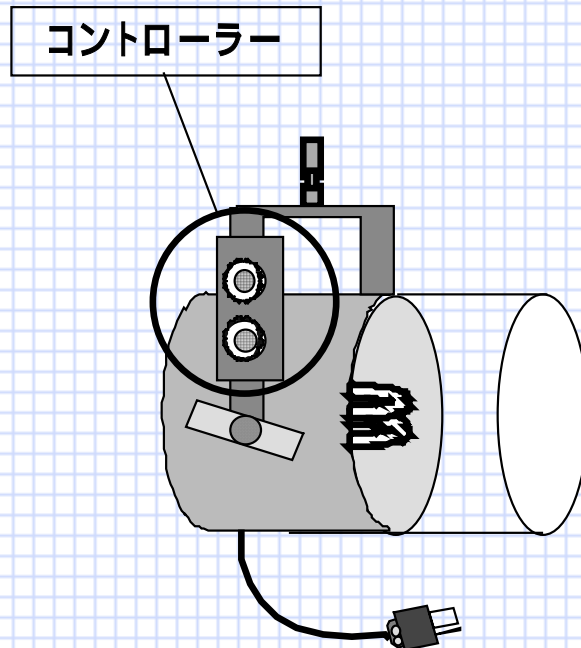
例えば、曲で盛り上がるにつれて点滅スピードを上げていったり、また雷を演出する場合、遠くの際は調光で暗めにし、近くの際は明るめにするといった効果ができます。

遠隔操作をする場合、下の図のようにPARストロボ用のコントローラーを差込み、操作したい場所まで4pinの延長ケーブルを伸ばします。

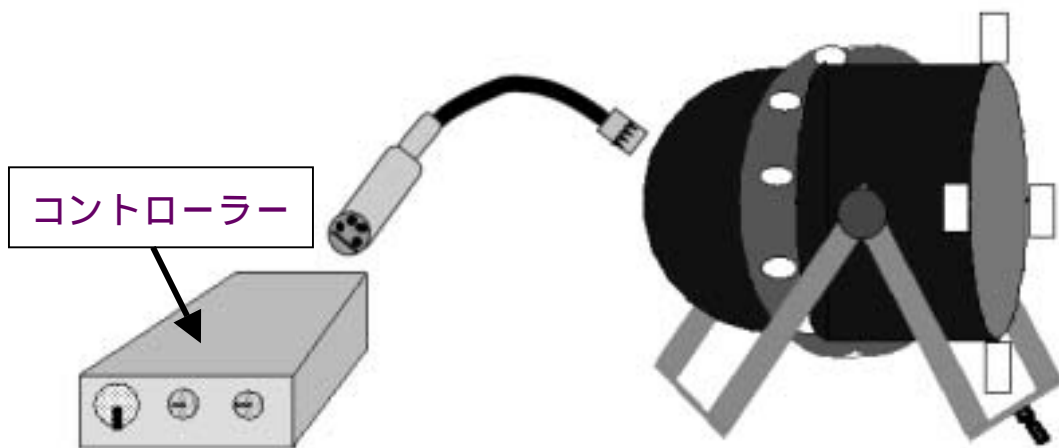


# 遠隔操作をしない場合

- ◆ 遠隔操作をしない場合はコントローラーをスポットに取り付けておき、あらかじめ明るさ・スピードを調節します。



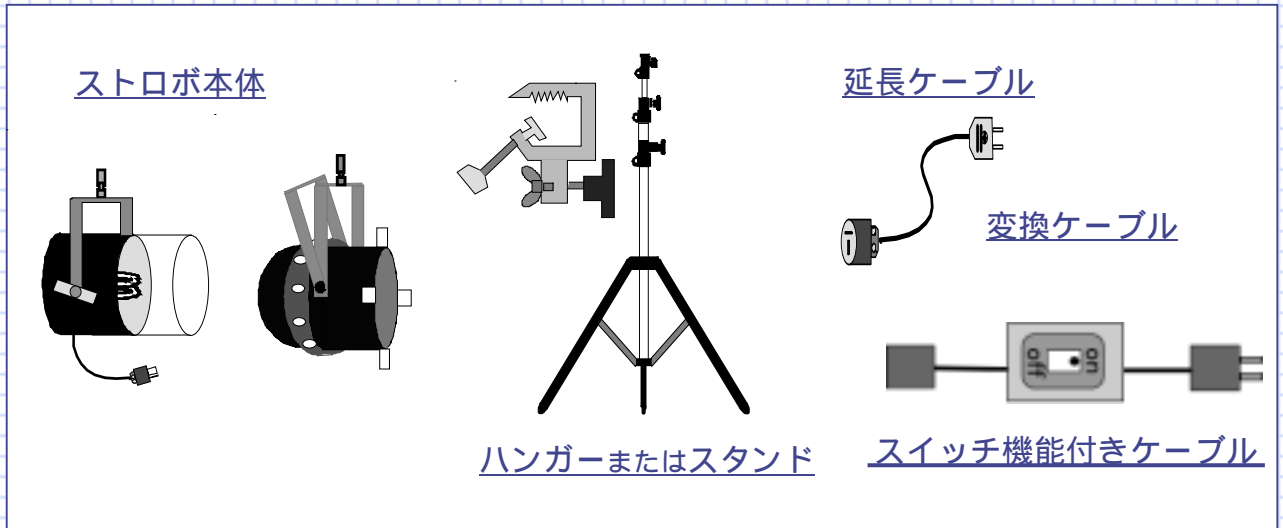
- ◆ ドームストロボのコントローラーを固定した場合



- ◆ P A R ストロボのコントローラーを固定した場合

# P A R ストロボ・ドームストロボの使用法

## P A R ストロボ・ドームストロボをセッティングしてみましょう



### <ハンガーとスタンドの使い分けについて>

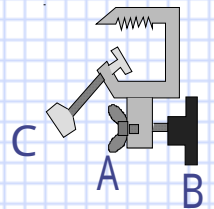
\*ハンガーを使用する場合は会場に吊り込み可能なパイプ（バトン）が必要です。  
スタンドはステージ上に置いて使用する場合に使用します。

\*ハンガーにスポットを取り付けるときは

図A、Bのネジをゆるめてスポットに差込みネジを締めて固定します。

ハンガーにネジをしっかり締めて固定します。

取り付けたスポットをバトン（パイプ）に取り付けるときは図Cのネジをしっかり閉めます。

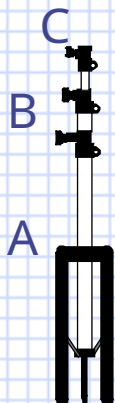


\*スタンドにスポットを取り付けるときは

Aのネジをゆるめて脚を広げて固定します。

スポットを取り付けるときはCのネジをゆるめてスポットを差込みネジを締めて固定します。

Bのネジをゆるめてスタンドの高さを調整します。

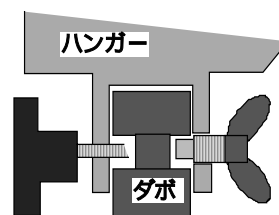


# セッティング方法 (ハンガー使用の場合)

## スポットにハンガーを取り付ける

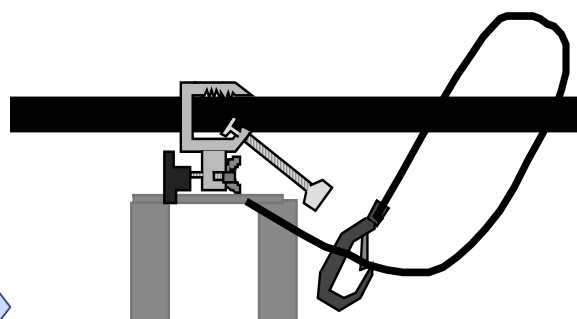
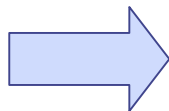
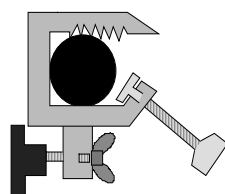
スポットのダボのへこんでいるところにハンガーのA、Bのネジが入るようにします。

B  
ダボ



## バトン (パイプ) にスポットを吊りこむ

バトンに吊り込むときはハンガーを奥まできちんと入れ、Cのネジをしっかりと締めます。  
スポットの落下防止チェーンは必ずバトンにかけて下さい。



落下防止チェーン

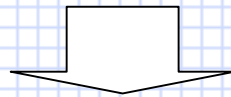


## スポットの電源を取る

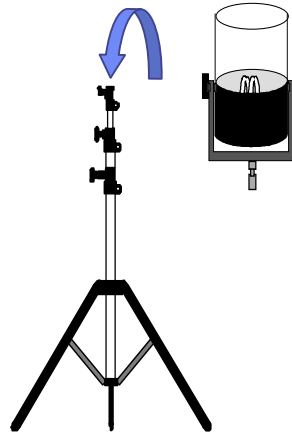
スポットはT型プラグになっています。バトンに電源コンセントがT型でついていない場合はそのまま差し込めませんが、ほかの型のコンセントの場合変換ケーブルが必要になります。

# セッティング方法 (スタンド使用の場合)

スタンドの足を広げ固定する



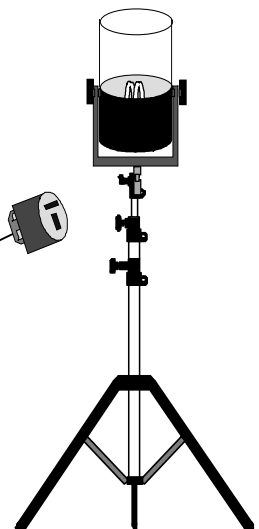
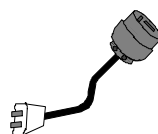
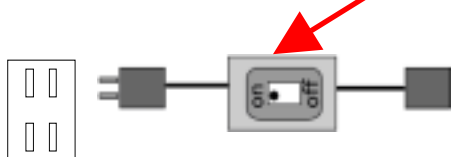
スポットを取り付ける



平行-T型変換ケーブルをつなぎ、既設コンセントに平行プラグを差し込む

電源まで距離があるときは延長ケーブルをスポットと変換ケーブルの間に入れる

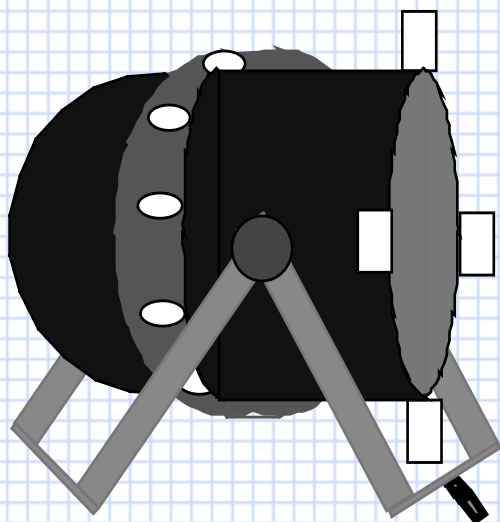
ここでスイッチ機能のついたケーブルを入れておくとコンセントの抜き差しをしないですむ



# ストロボ置きの場合

---

- ・ P A R ストロボはダブルアーム形式なので、置いて使う場合は下図のようにして置きます。



- ・ ドームストロボの置きの場合はベースを付けます。

